

意見・質疑等

Q：エコリーセンターの操業状況について、令和6年度灯油使用量が前年比214%と急激に増えているが灯油の値段が上がったためか。

A：ごみ質による影響や焼却炉耐火物の乾燥焼きなど、灯油使用量が増加した理由は基幹改良工事に起因するもので、灯油の値段が上がったためではない。

Q：令和5年度、令和6年度（中間）各種測定結果及び周辺環境調査結果について調査地点の基準はどの様なものか。また、令和6年度中に測定見込みとなっているものがあるが、季節によって測定値に誤差は生じないのか。

A：周辺環境調査の調査地点については、処理場建設前に測定箇所を決定し、建設後は同じ地点で毎年測定することで結果を比較できるようにしている。

測定見込みとなっているものは集じん灰であり、工場貯留設備から直接採取のため、季節風や気象条件による影響は無い。

なお、詳細については、以下のとおり。

ア 各種測定

(ア) ばい煙 令和6年9月20日実施済み

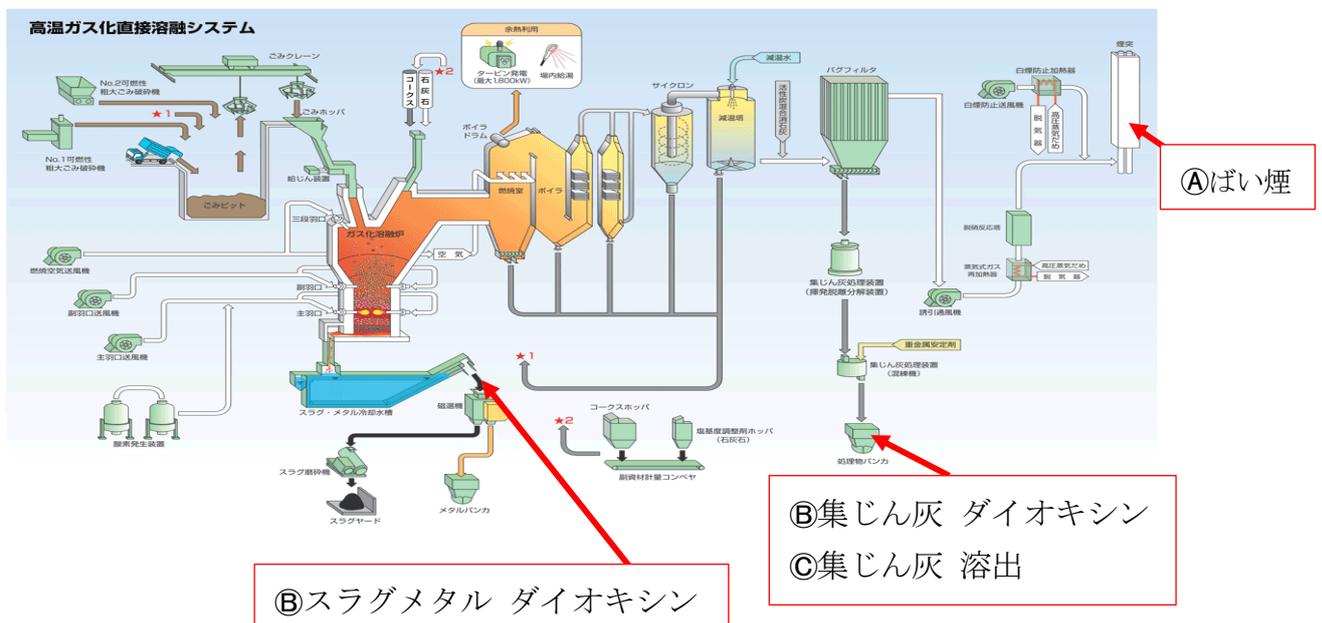
…煙突途中 (A) からの採取のため、季節風や気象条件による影響は無い。

(イ) 集じん灰・スラグメタル（ダイオキシン類濃度） 令和6年度実施見込み

…工場設備 (B) から直接採取のため、季節風や気象条件による影響は無い。

(ロ) 集じん灰溶出試験 令和6年度実施見込み

…工場貯留設備 (C) から直接採取のため、季節風や気象条件による影響は無い。



イ 周辺環境調査（測定場所は次の図のとおり）

- (ア) 大気質 令和6年9月18日(水)から9月24日(火)まで7日間連続測定
…季節が変わることにより、気象条件に変化があるため、影響が全く無いとは言えない。モニタリング調査なので、同時期に行うことが望ましいが基幹改良工事による全休炉の為、9月に実施した。なお、測定項目はすべて排出基準以下の数値であり、良好な結果であった。
- (イ) 騒音・振動 令和6年11月18日(月)から11月19日(火)まで実施
…測定結果の変動の影響を軽減するため、マニュアル（騒音に係る環境基準評価マニュアル）等に従っている。同マニュアルでは、騒音の測定は1年を代表する日、平日で秋季に行うことが望ましいと記されている。令和4年度は11月8日～9日、令和3年度は11月15日～16日、令和2年度は11月17日～18日に実施している。10月～11月の2か月間は騒音の状況が平常時に近いと判断して調査を実施している。
- (ウ) 交通量 令和6年11月19日(火)実施
…ゴミ収集車の交通量が多い火曜日に毎年、道路交通騒音の調査を実施している。
- (エ) 悪臭 令和6年9月20日(金)実施
…結果に影響を与えるものは風向・風速であり、それらは日々変わるため、季節風や気象条件による影響が全く無いとは言えない。

Q：次の測定時期はいつ頃か。

A：通常年度の測定時期と同じ時期を予定している（今回は基幹改良工事により同じ測定時期とすることができなかった。）。

Q：基幹改良工事について、工事の進捗率は、令和6年度と令和7年度を通算しての進捗率で、令和6年度のみを進捗率ではないとの認識で良いか。

A：お見込みの通り。

Q：6年度末で進捗率が91.5%ということは、ほぼ6年度で工事の大まかなところは終了するという考えで良いか。

A：重量ベースでの進捗率を表しているが、お見込みの通り。

(参考) 測定場所図

